

西宮市役所 E C O プラン-第三次西宮市地球温暖化対策実行計画（事務事業編） -  
平成 26 年度実績報告書

1. 計画について

第二次西宮市地球温暖化対策実行計画の計画期間満了に伴い、平成 26 年度より西宮市役所 E C O プラン-第三次西宮市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）-を推進しています。計画期間を平成 26 年度から平成 32 年度までの 7 年間とし、本市の事務・事業（指定管理者制度の対象施設における活動を含む）から排出される温室効果ガス<sup>\*1</sup>（目標設定対象排出量<sup>\*2</sup>）を平成 32 年度までの 7 ヶ年で平成 25 年度（基準年度）より 7 %削減することを目標としています。

- ※1 温室効果ガス…本計画では、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）、メタン（CH<sub>4</sub>）、一酸化二窒素（N<sub>2</sub>O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）の 4 つが対象。
- ※2 総排出量と目標設定対象排出量…総排出量は、市役所のすべての事務・事業から発生する温室効果ガスの排出量。これに対し、目標設定対象排出量は総排出量から一般廃棄物焼却、下水処理及び麻酔（笑気ガス）の使用による排出量を除外したものを。

2. 平成 26 年度 目標設定対象排出量の実績

平成 26 年度の目標設定対象排出量と対基準年度（平成 25 年度）との比較については、表 1 のとおりです。

表 1 平成 26 年度の目標設定対象排出量の対基準年度の増減量・率

（単位：kg-CO<sub>2</sub>）

基準年度 （平成 25 年度）	平成 26 年度	対基準年度	
		増減量	増減率 [%]
54,056,536	52,548,384	△1,508,152	△2.79

3. 目標設定対象排出量の内訳

平成 26 年度の目標設定対象排出量の活動別の内訳と基準年度（平成 25 年度）との比較については、表 2 のとおりです。

表 2 目標設定対象排出量の活動別内訳

（単位：kg-CO<sub>2</sub>）

関連する活動		基準年度排出量	平成 26 年度排出量	増減量 （対基準年度）	増減率[%] （対基準年度）
電気の使用		43,409,939	43,049,894	△ 360,045	-0.83%
各種燃料の使用	都市ガス	8,654,692	7,526,062	△ 1,128,630	-13.04%
	ガス機関	34,618	31,936	△ 2,682	-7.75%
	A重油	262,379	328,444	66,065	25.18%
	LPG	98,239	105,752	7,513	7.65%
	灯油	218,107	158,105	△ 60,002	-27.51%
	ガソリン	676,351	659,572	△ 16,779	-2.48%
	軽油	391,913	420,888	28,975	7.39%
CNG	279,612	237,380	△ 42,232	-15.10%	
自動車の使用		30,686	30,351	△ 335	-1.09%
<b>目標設定対象排出量</b>		54,056,536	52,548,384	△ 1,508,152	-2.79%

※A重油及びLPGの増加原因については、対象施設の見直しによるものです。

平成 26 年度の目標設定対象排出量は 52,548,384kg-CO<sub>2</sub> で、基準年度（平成 25 年度）の排出量 54,056,536kg-CO<sub>2</sub> と比較すると増減量は△1,508,152kg-CO<sub>2</sub>、増減率は△2.79%となります。そのうち、電気使用による排出量は 43,049,894kg-CO<sub>2</sub> で減少しています。これは、電気使用量のうち、排出係数が大きい電気事業者の電気使用量が

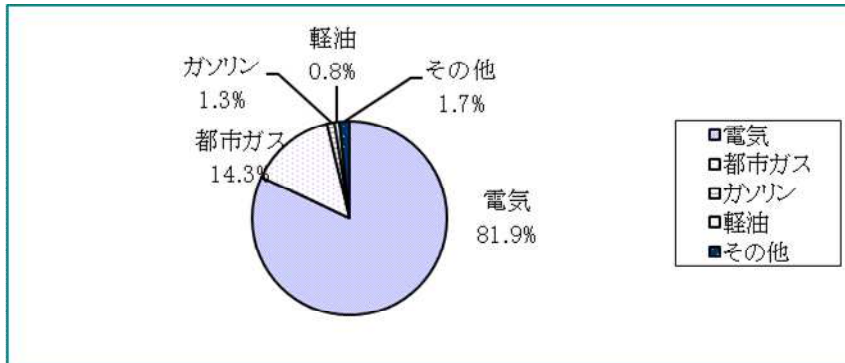
減少し、排出係数が小さい電気事業者の電気使用量が増加したことによると考えられます。また全体に占める割合は少ないですが、CNG使用による排出量が減少し、軽油使用による排出量が増加した主な原因としては、天然ガス車からディーゼル車への買い替えなどが考えられます。

#### 4. 目標設定対象排出量の内訳（円グラフ）

平成 26 年度の目標設定対象排出量の活動別の割合は、図 2 のとおりです。

電気及び都市ガスの使用による温室効果ガス排出量が全排出量の 96.2%と大部分を占めています。特に、電気の使用による排出量は 81.9%を占めており、電気の使用量を減らすことが目標設定対象排出量の削減のための最も重要な要素となっています。

図 2 活動別の目標設定対象排出量の割合



※その他…ガス機関、A重油、LPG、灯油、CNG、自動車の走行

#### 5. <参考> 平成 26 年度 総排出量の実績

総排出量は、目標設定対象排出量に、一般廃棄物焼却、下水処理及び麻酔（笑気ガス）使用に伴う排出量を合わせたものです。これらの活動に伴う排出量は、市民や事業者の活動などと直接関係しており、市の事務・事業として目標を設定することは不適切なため、目標設定対象排出量からは除外しているものです。

基準年度（平成 25 年度）と平成 26 年度の総排出量は表 3 のとおりです。

平成 26 年度の総排出量は基準年度と比較し 2.5%の減少となりました。

表 3 総排出量の内訳

(単位：kg-CO<sub>2</sub>)

	基準年度 (平成 25 年度)	平成 26 年度	対基準年度 増減率 (%)	
			増減量	増減率 [%]
総排出量	120,108,927	117,143,999	△ 2,964,928	△ 2.5
目標設定排出量	54,056,536	52,548,384	△ 1,508,152	△ 2.8
一般廃棄物の焼却に伴う排出	62,016,007	60,600,992	△ 1,415,015	△ 2.3
下水処理に伴う排出	4,036,374	3,976,022	△ 60,352	△ 1.5
麻酔(笑気ガス)使用に伴う排出	0	18,600	18,600	-